

1 平成24年4月人事異動の概要について

1 教職員人事異動方針

教育に対する県民の期待と要望にこたえ、学校教育の一層の進展を期するため人事行政の秩序を保ち公正にして適切な人事異動を行う。

- (1) 各学校の教職員組織の充実と均衡を図るため、全県的立場にたつて適材を適所に配置する。
- (2) 教職員の経験を豊かにし、気風の刷新を図るため、同一校長長期勤務者の解消に努める。
- (3) 児童・生徒の指導の充実強化を目指し教員の特性、経験を生かす異動に努める。

2 平成24年4月教職員人事異動の重点項目

【小・中学校】

- (1) 小・中学校間及び小・中学校と特別支援学校間との校種間交流並びに他県及び国・私立学校との人事交流の積極的な推進
- (2) 管理職及び県教育委員会事務局指導主事等への若手教員の登用
- (3) 女性管理職の積極的な登用
- (4) 同一校における10年以上の長期勤務者の解消及び新規採用教員については3年以上6年以内の積極的な異動（平成26年4月までに長期勤務者割合を5%台に）

【県立学校】

- (1) 高等学校における地域間及び学科間の異動並びに他県との人事交流の推進
- (2) 特別支援学校における新規採用から3年以上6年以内の異動や異校種間人事交流の推進
- (3) 管理職及び県教育委員会事務局指導主事等への若手教員等の登用

3 異動件数(退職者含む)

		小・中学校	県立学校	事務局	合計	
異動件数		1,199	462	103	1,764	
内 訳	退	校長	75	13	88	
		教頭	22	11	33	
	職	一般	302	116	6	424
		計	399	140	6	545
	異動	800	322	97	1,219	

前年度	1,198	457	141	1,796
増減	+ 1	+ 5	△ 38	△ 32

4 異動件数の推移

	小・中学校	県立学校	事務局	合計
平成24年4月	800	322	97	1,219
平成23年4月	841	325	126	1,292
平成22年4月	805	336	80	1,221
平成21年4月	746	427	98	1,271
平成20年4月	762	475	129	1,366

5 年齢別退職者数

	小・中学校	県立学校	事務局	合計
60歳	173	85	5	263
59歳以下	226	55	1	282
合計	399	140	6	545

前年度	357	132	15	504
増減	+42	+8	△9	+41

6 校長・教頭への昇任

()内は女性で内数

(1) 新校長

小	中	県立	計
49 (10)	22 (2)	13 (0)	84 (12)

前年度	45 (4)	22 (1)	11 (0)	78 (5)
増減	+4 (+6)	±0 (+1)	+2 (±0)	+6 (+7)

(2) 新教頭

小	中	県立	計
52 (5)	34 (1)	23 (3)	109 (9)

前年度	50 (3)	27 (2)	13 (3)	90 (8)
増減	+2 (+2)	+7 (△1)	+10 (±0)	+19 (+1)

7 主な特徴

異動件数(退職含む)については、小・中学校が1,199件、県立学校が462件、事務局が103件で総数は1,764件となり、昨年と比して32件の減となった。

(1) 長期勤務者の解消

学校教育の活性化を図るため、同一校10年以上の長期勤務者の解消に努め、その結果、小・中学校では、昨年と比して1.8ポイント減の4.7%となった。

(2) 新規採用教員の3年以上6年以内の積極的な異動

小・中学校における新規採用から同一校で6年以上の勤務する者の割合は、昨年と比して1.1ポイント減の1.3%となった。

(3) 管理職・事務局指導主事等への若手教員の登用

小・中学校の教頭に昨年と比して11名増の14名(最年少：平群南小学校教頭42歳)、県教育委員会事務局に30歳代3名を含む25名、さらに、市町村教育委員会事務局には16名の若手登用を行った。

(4) 女性管理職の登用(昇任)

小・中学校の女性管理職には18名を登用(昇任)し、女性管理職数は53名(対前年3名増)となった。県立学校では、3名を登用(昇任)し、女性管理職数は10名(対前年1名増)となった。全管理職に占める女性の割合は、小・中学校が8.6%(前年8.0%)、県立学校が9.8%(前年8.8%)となった。

(5) 他県及び国公立学校との人事交流の促進

教員の経験と視野を広げ、公立学校の活性化を目指し、三重県・和歌山県との三県交流や、奈良教育大学附属中学校、奈良女子大学附属小学校・中等教育学校、大和高田市立高田商業高等学校、一条高等学校との交流を行った。また、今年度から新たに奈良学園中学校、東大寺学園中学校との人事交流を行い、交流数は昨年と比して17件増の計31件となった。

2 平成24年度奈良県公立学校教職員新規採用者数

1 校種別

校 種	職 種	平成24年度	平成23年度	増 減	備 考
小学校	教 諭	242	219	+23	
	養護教諭	4	5	-1	
	栄養教諭	3	2	+1	
中学校	教 諭	143	128	+15	国25, 社19, 数24, 理25 音3, 美2, 保体15, 技3 家2, 英25
	養護教諭	6	3	+3	
	栄養教諭	0	1	-1	
県立学校	教 諭	114	93	+21	高等学校80 特別支援学校34
	養護教諭	2	2	0	
	実習助手	0	0	0	
	寄宿舎指導員	0	0	0	
小・中・高等学校事務職員等		4	5	-1	
全 体	教 諭	499	440	+59	
	養護教諭	12	10	+2	
	栄養教諭	3	3	0	
	実習助手	0	0	0	
	寄宿舎指導員	0	0	0	
	事務職員等	4	5	-1	
	計	518	458	+60	

2 男女別

校 種	採用数	男	昨年	女	昨年
小学校	242	108 (44.6%)	34.2%	134 (55.4%)	65.8%
中学校	143	83 (58.0%)	54.7%	60 (42.0%)	45.3%
高等学校	80	49 (61.3%)	61.8%	31 (38.8%)	38.2%
特別支援学校	34	9 (26.5%)	44.7%	25 (73.5%)	55.3%
養護教諭	12	0 (0%)	0%	12 (100%)	100.0%
栄養教諭	3	0 (0%)	0%	3 (100%)	100.0%
事務職員	4	0 (0%)	0%	4 (100%)	100.0%
全 体	518	249 (48.1%)	42.8%	269 (51.9%)	57.2%

3 「東日本大震災特別選考枠」の採用者数

(1) 「東日本大震災特別選考枠」について

●「東日本大震災特別選考枠」〔40人程度(小学校25人程度、中学校15人程度)〕

東日本大震災により被災をされた県において、公立小中学校の教員採用が見合わされる等の状況が生じていることに鑑み、特に小中学校の教員を目指す方々の教員になり教壇に立つという夢を叶えることの一助とするとともに、被災者の就労支援にも繋がることから、「東日本大震災特別選考枠」を設定。

●「東日本大震災特別選考枠」応募者への配慮

- ① 通常2日間に渡る第1次試験を1日で実施
- ② 将来、地元への帰郷を希望する場合には、関係自治体と調整し実現を図るように努めます。

(2) 採用者の状況

「東日本大震災特別選考枠」応募者数	<u>39人</u>
受験者数	<u>30人</u>
合格者数	<u>16人</u>
採用者数	12人

① 校種別の状況

	応募者数	受験者数	合格者数	採用者数
小学校	17人	13人	8人	7人
中学校	22人	17人	8人	5人
計	39人	30人	16人	12人

③ 対象地域別の状況

	応募者数	受験者数	合格者数	採用者数
青森県	—	—	—	—
岩手県	—	—	—	—
宮城県	7人	5人	3人	2人
福島県	31人	24人	12人	9人
茨城県	1人	1人	1人	1人
栃木県	—	—	—	—
千葉県	—	—	—	—
計	39人	30人	16人	12人

② 男女別の状況

	応募者数	受験者数	合格者数	採用者数
男性	23人	17人	9人	8人
女性	16人	13人	7人	4人
計	39人	30人	16人	12人

④ 校種・教科の状況

	小学校	中学校					計
		国語	社会	数学	理科	英語	
採用者数	7人	—	1人	1人	2人	1人	12人